



札幌クラブ

The Service Club of YMCA

The International Association of Y's Men's Clubs

BF (Brotherhood Fund)、メネット

— 主 題 —

国際会長 Let Us Walk in the Light- Together
—Fellowship across the Borders—
アジア会長 Let Us Walk in the Light- Together
東日本区理事 広げよう ワイズの仲間
北海道部部長 EMCの強化
札幌クラブ会長 楽しいワイズ

Henry Grindheim (ノルウエー)

Tung Ming Hsiao (台湾)
栗本 治郎 (熱海)
森 熊治郎 (札幌北)
柴田 伸俊 (札幌)

札幌クラブ役員

会 長 柴田 伸俊
副会長 中田 千鶴
書 記 中田 靖泰
会 計 秋葉 聡志
直前会長 宮崎 善昭

今月の聖句

神は真実〔な方〕である。その神は、あなたがたが耐えられないような試練に遭わせることは
なさらず、試練と共に、それに耐えられるよう、逃れる道をも備えていて下さいます。
コリント人への第一の手紙 10：13 中田靖泰選

冬季オリンピックが終わって 札幌クラブ 伏木 康



スピードスケートの高木姉妹(十勝)とカーリング女子のロコ・ソラーレ(北見)は感動しました。また、小平奈緒選手の所属先である相沢病院(長野県松本市)の話はワイズメンにとって参考になるものでした。2014年のソチ五輪くらいから脚光を浴びるようになりましたが今回の

選手団主将を務めるようなリーダーを2009年から支援していたそうです。メダルを取れそうになくても、一生懸命努力する若いスポーツ選手を支援するのは素晴らしいことです。
脚光を浴びるオリンピック選手のスポンサーに世間の目が注がれがちですが、冬季パラリンピックに出ようとしている選手も応援したいと思えます。札幌YMCAでは、障がい者チャリティのイベントに力を入れています。ランが5月に、ゴルフが7月に(2018年は7月1日の日曜日開催)、パークゴルフが秋に開催されています。私は都合がつく限り参加するつもりですが、冬のイベントはありません。北海道にあるYMCAは、冬にも障がい者チャリティのテーマを考えてはどうでしょうか?

ワイズメンでYの健常者ウインタースポーツを支援することはありません。中島公園にあるクロスカントリースキーの初心者コースで、チャリティスキー

ランなんてどうでしょうか。ワイズメンはゴールした選手たちに豚汁を振る舞い冷えた体を温めてもらう。行事の増加は、Yのスタッフからお叱りを受けるかもしれません。仕事を増やすなんて昨今関心を集めている働き会改革に逆行すると。

でも、昨年ゴッシーリーダーがクライミングウォールプロジェクトにチャレンジしました。東京オリンピックでこの新種目に出場する人材を輩出するかもしれません。ゴッシーに続く次のチャレンジは冬をテーマにしたものはどうでしょうか。Yの冬プログラムに参加していた子供が次の次くらいの冬季オリパラに出場することを夢見たいです。

先日、グレイテスト・ショーマンという映画を大画面で見ました。いろいろな個性を持つ人々に希望の光を灯すことをテーマにしたミュージカルです。また、2月28日のピンクシャツデーにYMCAに行った際、札幌Yのスタッフが演じていた動画を見ました。どちらもテーマは共通で差別の問題は時代が違っても不変だと思いました。

札幌Yの会館が老朽化、隣地に新しい建物が建設中のため古さが際立ちそうです。でも、YMCAはソフト(マインド、スピリット)を大切にしてブランディングを進めていると感じました。昨年、北海道Yは120周年で、記念の会員大会が盛大に開催されました。125周年も待ち遠しいです。

018年2月例会 在籍会員 10名 例会出席 5名 メネット 0名 メーキアアップ 0名
出席報告 ゲスト 0名 ビジター 0名 計 5名 出席率 50%

札幌ワイズワイズメンズクラブ例会

2018年3月例会

日時 2018年3月20日(火) 18:30~20:30

会場 北海道YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目1-2

Tel. 011-561-5642

会費 1,000円

プログラム

司会 中田 靖泰

- ① 開会点鐘 札幌クラブ会計 秋葉 聡志
- ② ワイズソング・ワイズの信条 全員
- ③ 聖句 中田 靖泰
- ④ 会長挨拶 札幌クラブ会計 秋葉 聡志
- ⑤ 誕生日 なし
結婚記念日 なし
- ⑥ 卓話

「YMCAと私」

札幌YMCA 野外活動リーダーOB

植田 浩司



- ⑦ 諸報告
- ⑧ YMCA報告
- ⑨ みんなで歌おう



「ごはんのうた」

- ⑩ 閉会挨拶 札幌クラブ会長 柴田 伸俊

何故この聖句を? 中田 靖泰

苦しみに遭わずに生涯を終えられるなら、それに越したことはないと思います。しかし、苦しみに遭うことで、人生について深く考えたり、他者とのかかわり方が、より深まったり、プラスに作用することもあるようです。ヨブ記や詩編、パウロの書など、今まではただ何となく読んでいた個所が心にしみることもあるようです。

札幌クラブ2018年2月例会

日時: 2018年2月20日(火) 18:30~20:30

場所: 北海道YMCA 101教室

参加者: 秋葉、柴田、中田靖、伏木、宮崎

秋葉総主事から昨年12月、韓国光州市で開かれた「日中韓YMCA総主事会議」の報告を聞きました。シニアだけでなくユースも含めた148名が参加し、過去を乗り越え、新たな友好と平和を話し合うことが出来たことは大いに有意義であった。途絶えていた韓国群山Yとのパートナーシップが復活しそう、中国成都Yからも熱烈的なラブコールがあり、近く来札とのこと。有意義な考えさせられる卓話でした。



札幌クラブ2018年2月事務会

日時: 2018年2月27日(火) 19:00~20:30

場所: 北海道YMCA 総主事室

参加者: 秋葉、柴田、中田靖、宮崎

1. 3月例会予定
出席予定: 柴田・中田靖・秋葉・宮崎・伏木・佐藤
2. 3月事務会 3月27日(火) 19:00~
日程: 3月20日(火) 18:30~20:30
卓話: 野活リーダー 植田浩司氏
3. ブリテンについて
3月担当: 巻頭言 伏木 聖句 中田靖
例会関連 柴田 前月卓話報告 秋葉
YMCAニュース 佐藤
4. 北海道部次期ユース事業主査について
伏木会員に会長から依頼・了承済み
5. 会計年度末見込について
コンサート中止に伴う収入未達成のため、予算執行に支障をきたさないか一度検討が必要。次回3月事務会にて、年度末見込を会計から提示し、対応を協議する。
6. 今後の予定
 - ①ワイズベル杯水泳発表会&サッカー大会
コーヒーサービス(3月4日)
柴田夫妻・中田靖
 - ②次期会長研修会・部会(4月28日)

1月例会卓話 **第7回日中韓YMC A平和フォーラム参加報告** 北海道YMCA総主事 **秋葉 聡志**

第7回日中韓YMC A平和フォーラムが、2017年12月16日(土)～20日(水)にかけて韓国光州市で開催され、参加してきました。三カ国の参加者はシニア105名、ユース43名、合計のべ148名で、ユースの参加が3割を占めました。

このフォーラムのきっかけとなったのは、1995年に開かれた、日本敗戦／韓国解放50周年記念「日韓YMC A国際シンポジウム」において、日韓YMC A及びキリスト教の関係史に関する共同研究を推進することが提案され、日韓歴史セミナー開催へと発展したことでした。さらに2000年のソウルでの第4回セミナー後の日韓YMC A連絡委員会で、歴史セミナーの実績を踏まえて、日韓YMC A関係史をまとめることが決議され作業が開始されました。この日韓YMC A関係史の完成を機に、中国YMC Aにも呼びかけ、2004年第1回日中韓YMC A平和フォーラムが韓国・済州島で開催されるに至ったのです。以降、2年に1度のペースで、3ヶ国持ち回りにより、阿蘇・広島・仁川・広島・南京と開催され、今回の光州で7回目となりました。第4回まではシニア中心の50名程度の規模の集まりでしたが、第5回の広島からユースに呼びかけ、シニア37名とユース26名が参加しました。第6回の南京からは、ユースが主体となって企画・運営を担い、シニア42名・ユース33名が参加、回を追うごとに参加者は増え、今回は最大の参加人数となりました。

フォーラムの意義は、①歴史的・文化的違いを超えて「平和」構築に向けて議論すること ②相互理解を深めること ③ユースの参画と育成を図ること、です。今回、東日本地区YMC Aの総主事は全員参加との申し合わせにより、初めて参加しましたが、YMC Aの使命である平和についてシニアとユースが共に行動することは、非常に有意義で価値の高いプログラムであると痛感しました。

プログラムは、様々な講演と分団討議、フィールドワークで構成されていましたが、講演は同時通訳、分団は英語でお互いに助け合いました。

また、1980年に起こった光州事件の背景、その後の韓国民主化の歴史を現地でもリアルティを持って学ぶことができました。韓国国民が市民運動によって自らの手で勝ち取った民主主義と、敗戦によって与えられた日本の民主主義のあり様と国民の意識の違いを知ることができました。平和フォーラムをどこで開催するのも大事な要素であると感じました。

今回のフォーラムに参加して、最も強く感じたのは、「平和を語る自由のある恵み」でした。それぞれの国の歴史には、平和を自由に語れない時代があり、抑圧・被抑圧の歴史があります。特に東アジア諸国と日本の関係については、学びが浅いことを恥じるばかりです。歴史的事実をしっかりと学びつつ、平和を語る者でありたいと思います。多くの日本人に必要な歴史教育・平和教育の機会を北海道YMC Aでも積極的にもつことが求められます。その上でさらに、中国・韓国・台湾など東アジアYMC Aとの関係づくりを進める必要があります。国レベルでは困難なこともYMC A間でなら可能です。パートナーシップを中心に、長期的に交流することが平和を構築・維持する一歩と感じます。

このフォーラムの開催中、予期せぬ成果がありました。それは、韓国・群山(Gunsan)YMC Aとのパートナーシップの復活です。2日目朝食時に、韓国セジョンYMC Aのリー総主事から、群山(クンサン)YMC Aと札幌YMC Aとのパートナーシップについて照会を受けたのですが、承知していなかったため、互いに調べることにしました。総主事室の調査では、北海道YMC A百年史に、群山Yの金総務の研修を受け入れたことをきっかけに、1969年3月に姉妹提携を結んだことが記録されていましたが(P461)、その後、日本への入国の難しさから交流が途絶えていたことが判明しました。1997年の創立100周年の際に式典の案内を送りましたが、返信はなく、群山YMC Aは消滅したと捉えていました。翌日、韓国側にも記録が残っていることを確認することができました。

4日目の夕食から合流した群山YMC Aの曹(チョウ)総主事と会談し、パートナーシップ関係にあることを確認し、今後交流を復活することを確認しました。その後の日韓連絡協議会で公式に報告をしました。まったく予期せぬ出会いであり、大きな成果でありました。今後、実体を伴った交流を目指していきたいと思います。

さらに、中国成都YMC A華(Hua)総主事から、北海道YMC Aとのパートナー関係を結びたいとの要請がありました。成都是、中国西部の四川省の省都であり、人口1,400万人強の大都市で、パンダの故郷です。急がず、まずは交流事業の実体をつくることから始め、醸成してパートナー関係に育てていければと思います。今後、互いに情報交換をしながら交流の可能性を探っていきたいと思います。多くの成果があったフォーラムでした。

YMCA ニュース 担当主事 佐藤 雅一

2018年度北海道YMCA創立記念日集会



W・クラーク博士から聖書による教育を受けた札幌農学校の1期生と、1期生の強い影響を受けた2期生による札幌バンド(キリスト教信仰によって強く結びつけられた青年の集団)の青年たちを礎として1897年に結成された札幌基督教青年会によってYMCA運動が始まり、今年121年目を迎えました。



内村 鑑三



新渡戸 稲造

4月1日を創立記念日と定め、創立の思いに立ち返ると共に、ミッションステートメントに示された働きを確認し、YMCAの願いを多くの人に伝え、共に学び合う時として創立記念礼拝・講演会を開催します。今年、土屋 博理事長より、北海道におけるYMCAの過去・現在・未来をテーマにお話いただきます。

時節がらお忙しいとは存じますが、ぜひ多くの方々にご参加頂きたくご案内申し上げます。

日時: 2018年4月8日(日) 14:00~16:30

会場: かでる2・7 730研修室
札幌市中央区北2条西7丁目

第1部 記念礼拝 14:00~14:50

第2部 講演会 15:00~16:30

「北海道におけるYMCAの過去・現在・未来」

講師:土屋 博さん(北海道YMCA理事長)

参加費無料*ご参加の方は、下記までご連絡下さい。

公益財団法人北海道YMCA

札幌市中央区南11条西11丁目2-5

電話 011-561-5217 FAX011-563-0041

メール: info@hokkaidoymca.or.jp

今後の日程

3月27日(火) 札幌クラグ 3月事務会
4月 8日(日) 北海道YMCA 創立記念日集会
4月17日(火) 札幌クラブ例会
4月28日(土) 北海道部部会・評議会
・次期役員研修会



上: 3月25日、サッカー大会
優秀選手に記念ボールを贈る柴田会長



2018年4月7日(土)

ワイズの信条

1. 自分を愛するように、隣人を愛そう。
2. 青少年のためにYMCAに尽くそう。
3. 世界的視野をもって、国際親善をはかろう。
4. 義務を果たしてこそ、
権利が生ずることを悟ろう。
5. 会合には出席第一、
社会には奉仕第一を旨としよう。